

緑化だより

No.35 平成21年2月号



ツバキ：肥後京錦 平成19年2月11日撮影

- きのこのない食卓なんて
- 樹のあれこれ
- 研修会・イベント報告

- 研修会・イベント紹介
- 花だより
- お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこのない食卓なんて

『第10話 制ガン作用について(7) ブクリョウ』

ブクリョウは、サルノコシカケ科の木材腐朽菌でマツの根を分解して生きています。松林の地下にブクリョウの菌糸の塊が見つかることがあります。これは子実体(きのこ)ではなく菌核と呼ばれる部分なのです。菌核というのは、菌が生き延びるための構造で、養分を蓄え、湿度が低くなるような厳しい条件にもきのこが耐え抜いていけるように助けているのです。

昔は“ブクリョウ突き”と呼ばれる職人がいて、先端の尖った金属棒でマツの切り株付近を突き刺して探していたようですが、今ではこのような技術を持つ人がほとんどいないため、大部分が中国や韓国からの輸入にたよっています。

ブクリョウの菌核の主成分は抗腫瘍物質の前駆体であるようです。また“利尿”などの効用から漢方薬には欠かせない材料になっています。



ブクリョウの菌核

樹のあれこれ

『ケヤキ』ニレ科ニレ属

ケヤキは日本の代表的な落葉広葉樹です。落葉する冬期には、樹形がはっきり分かります。幹が直立し、枝は空に向かって放射状に伸び、その美しい姿は離れていてもケヤキとわかります。

ケヤキは、『けやけき木』即ち『他のものより秀でた目立つ木』と言う意味があります。宮城・福島・埼玉の「県の木」に指定されています。

材は緻密で木目が美しいので古くから建築の構造材、内装材、タンスなどの家具、お盆、茶器、太鼓などの楽器に使用されており、身近に見たり触れたりすることができます。

山形県東根市の大ケヤキは樹齢 1,500 年以上と言われ、国の天然記念物に指定されています。全国の指定件数は 16 件と、樹種別の指定件数では、スギ(45 件)・イチョウ(27 件)・クスノキ(27 件)に次いで 4 番目になります。

東京の表参道のケヤキ並木は有名で、社寺の境内に植えられたり、各地の神木や地域のシンボルとして親しまれ保存される他、公園や街路樹など何処にでもよく植えてあります。園内では学習館周辺やレストハウス前などで見られます。



ケヤキの樹形



ケヤキの紅葉

花だより

ソシンロウバイ ロウバイ科ロウバイ属

Chimonanthus praecox form concolor

落葉樹の葉っぱが落ち、季節が冬へと変わった頃、香りのよい黄色い花を咲かせます。概ね 1～2 月に開花しますが、ソシンロウバイには早咲きの園芸品種(‘満月’)があり、12 月に咲き始めるものもあります。内側の花被片が暗紫色をしているのがロウバイで、ソシンロウバイは内側の花被片も黄色を呈し、径が約 2cm の黄色い花です。その他、ロウバイの変種で花の径が3～3.5cmほどあるトウロウバイ(唐蠟梅)、ロウバイとトウロウバイの中間型でカカバイなどがあります。トウロウバイは別名:ダンコウバイ(檀香梅)とも言いますが、クスノキ科のダンコウバイとは別種です。

ソシンロウバイの素心とは広辞苑によると『平生のおもい』とあります。平生とは、ふだん・いつもということであり、ロウバイのように花色に変化がない・飾らないという観点からそう付けられたのでしょうか。

ロウバイは、他の花に先がけて咲くので、花材として珍重されているほか、蕾は『蠟梅花・黄梅花』として鎮咳(ちんがい)・解熱などに用いられているそうです。

学名はキモナンツス プラエコクスと読むことができ、属名(*Chimonanthus*)はギリシア語 cheimon(冬)+anthos(花)で冬に咲く花にちなみ、種小名(*praecox*)は早期のという意味で、品種名(*concolor*)は、同色のという意味になります。いずれもこの花の特徴を表していると言えます。(センターではソシンロウバイが見られます)



ソシンロウバイの花



ソシンロウバイの蕾

研修会・イベント報告

12月23日(火) 『注連縄作り』

小河内わら工芸会の指導により「注連縄作り」を行いました。最初に注連縄の飾りに使うシビ抜き、縄の一部を太くするために使うタゴ等の下準備をし、それから縄を編んで行きました。縄は一握りの藁の束を二つに分け、結束してある方を左膝でしっかり押さえて縄をひねりながら編んで行きますが、力加減やタゴの入れ方によって形が整わず悪戦苦闘している人も見られました。最近では縄を編むことをしないため要領がつかめないのも当然なことかも知れません。それでも縄を輪にしたものを重ねて、松葉をユズリハで巻いたもの、ダイダイ、稲穂、ウラジロ等で飾り付けし、注連縄が出来上がりました。来年度も実施する予定なので、興味のある方は、参加してもらえたらと思います。



緑化研修会:注連縄作り 実施状況



注連縄

研修会・イベント紹介

○2月13日(金)『2月の自然探勝』10:00～12:00 管理事務所前集合

講師:植物研究家 中塚 道則 先生

散策路:野鳥の森コースを歩きます。タムシバ・ウラジロノキ・アカメガンシワなど観察しながら散策します。

○2月22日(日)『節分草寄植教室』10:00～12:00

学習室集合 講師:森林インストラクター 長井 稔 先生

要予約:先着30名 材料代 ¥1,500

総領町に県内最大の自生地がある『セツブンソウ』の育て方などを学び、植え付けを行います。ご自宅でセツブンソウを上手に育ててみませんか。

参加申し込みを受け付けています。ご予約はお早めに。



セツブンソウ

○3月1日(日)『ジャンボしいたけ植菌教室』10:00～12:00 学習室集合

講師:日本きのこセンター 入江 淳人 先生 要予約 持帰り可

ジャンボしいたけや植菌について学習した後、ほだ木へ植菌を行います。希望者にはほだ木を持ち帰っていただきます。ご自宅でジャンボしいたけを育ててみませんか。

(ジャンボしいたけとは、傘の厚みが4cm以上とされています)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○緑化ポスター原画コンクール入賞作品展 2月1日(日)迄 開催

○野鳥写真展 2月5日(木)～3月8日(日)迄

野鳥愛好家が撮影した野鳥の写真を展示します。様々な野鳥写真をご覧ください。

○冬のバードカービング展 2月28日(土)迄 開催

木彫りで作られた冬鳥の展示。写真と比較して見てください。

◎ 平成21年度カレンダー・友の会について

平成21年度緑化センターオリジナルカレンダーを作成中です。友の会会員にはもれなく差し上げます。この機会に友の会に入会されてはいかがでしょうか。

友の会会員には緑化だよりをはじめ、研修会・イベントの案内なども郵送しています。

◎ 森林ボランティア『ふれあい湧(ワーク)』のメンバー募集中!

センター内で活動している、森林ボランティア『ふれあい湧(ワーク)』のメンバーを募集しています。月1回、和気藹々と活動しています。初心者の方でも可能です。興味のある方は、管理事務所までお問い合わせ下さい。

◎ 臨時開園について

4、5月の休園日はありません。毎日開園します。ゆっくりお花見をお楽しみ下さい。